

成果報告書

地域文化倶楽部(仮称)創設支援事業

団体名	芸能花伝舎クラブ																		
所在地	東京都新宿区	設立年	2021年																
運営主体	公益社団法人日本芸能実演家団体協議会(芸団協)																		
事業目標	<p>長期的には、子どもから大人まで、伝統から現代まで多様な文化芸術を楽しむことができる総合的な文化芸術クラブを目指す。</p> <p>設立3年間で、子どもが伝統芸能を総合的に体験し学べる内容およびクラブ運営体制の確立を目指す。</p>																		
きっかけ	<p>芸団協は、「芸能が豊かな社会をつくる」という組織理念のもと、次代を担う子どもたちの健全な育成に寄与すべく、行政や地域と連携し子どもたちと芸能が接する多様な機会をつくってきた。</p> <p>芸能の体験や鑑賞機会は、1日もしくはごく短期間となることが多く、かねてより継続的かつ多ジャンルの体験ができる機会創出を模索していたことから、本事業に取り組むに至った。</p>																		
団体・組織等の連携	<p>【イメージ図】</p> <pre> graph TD A[アーツカウンシル東京] -- 助成 --> B[芸能花伝舎クラブ] C[芸団協] -- 主催 --> B D[新宿区] -- 後援: 広報など --> B E[日本舞踊協会 長唄協会 落語芸術協会 芸術家のくすり箱ほか] -- 講師派遣など協力 --> B B -- 主会場 --> F[芸能花伝舎] </pre> <p>【関係者団体一覧】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>団体名</th> <th>本事業における関わり方</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>公益社団法人日本芸能実演家団体協議会</td> <td>事業の運営・主催責任</td> </tr> <tr> <td>新宿区</td> <td>後援／広報協力など</td> </tr> <tr> <td>公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京</td> <td>伝統芸能体験活動助成</td> </tr> <tr> <td>公益社団法人日本舞踊協会</td> <td>講師・委員の派遣</td> </tr> <tr> <td>一般社団法人長唄協会</td> <td>講師・委員の派遣／楽器の提供</td> </tr> <tr> <td>公益社団法人落語芸術協会</td> <td>講師・委員の派遣</td> </tr> <tr> <td>特定非営利活動法人芸術家のくすり箱</td> <td>講師・委員の派遣</td> </tr> </tbody> </table>			団体名	本事業における関わり方	公益社団法人日本芸能実演家団体協議会	事業の運営・主催責任	新宿区	後援／広報協力など	公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京	伝統芸能体験活動助成	公益社団法人日本舞踊協会	講師・委員の派遣	一般社団法人長唄協会	講師・委員の派遣／楽器の提供	公益社団法人落語芸術協会	講師・委員の派遣	特定非営利活動法人芸術家のくすり箱	講師・委員の派遣
団体名	本事業における関わり方																		
公益社団法人日本芸能実演家団体協議会	事業の運営・主催責任																		
新宿区	後援／広報協力など																		
公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京	伝統芸能体験活動助成																		
公益社団法人日本舞踊協会	講師・委員の派遣																		
一般社団法人長唄協会	講師・委員の派遣／楽器の提供																		
公益社団法人落語芸術協会	講師・委員の派遣																		
特定非営利活動法人芸術家のくすり箱	講師・委員の派遣																		
活動場所	芸能花伝舎(東京都新宿区)																		

活動概要	<p>芸能花伝舎クラブは、公益社団法人日本芸能実演家団体協議会(芸団協)が、2021年より運営する文化クラブで、本事業の開始に合わせ設立された。前述の通り、複数回、複数ジャンルの体験によって、子どもたちの多様な興味関心を喚起しつつ、自らの「好き」に出会える可能性を広げる事も考慮し、「日本舞踊」「三味線」「落語」「身体理解」の4ジャンルで活動した。また、前年度から継続して参加の生徒用「経験者クラス」と、今年度から新たに参加した生徒用「初心者クラス」との2クラスを設置し、22回・15回のプログラムを組んだ。さらに、実演家による公演の家族同伴での鑑賞機会を設け、芸団協が実施する他の事業に参加できるよう各種案内を出すなど、「稽古」という基本的な枠組みに留まらず、家族で伝統芸能との関わりを更に広げていけるよう工夫を施した。</p>
------	---

○本事業による成果

- 21年入会の1期生うち約半数が今年度も活動継続。
- 【22年度継続意向調査】・クラブを続けたいか：26人回答中「はい」が16人、「検討中」が7人、「いいえ」が3人
「はい」と回答したデータの中には、
「日常で三味線や踊り、落語に今まで以上に興味を持つようになった」
「日本の伝統芸能にも興味がもてるようになったので、有り難がたかった。家でもお稽古の内容を見せてくれたりしていた」
「能や日舞、落語の公演で一流の場所で一流のものが見られたこと、実際に体験しているためにその価値が子供にも良くわかり、芸を極める難しさや厳しさなども感じとっていた」
といった、活動を通して伝統芸能をより身近に感じられるようになった児童・生徒が散見された。
検討中といいえが10人になったが、高校受験や、「中学校に進学し学校のクラブ活動と並行しての活動が困難である」等、継続はしたいが物理的な制約があるためという理由が多かった。

○児童・生徒への指導に関する工夫

- ・伝統芸能への親和性や参加感をより高めることを狙い、自分自身で浴衣の着付けを行うことを必須とし、毎回所作の指導から丁寧に行った。
- ・複数ジャンルの芸能を体験できる特徴を生かし、三味線と日本舞踊については、単科のみならず、仲間の演奏で踊る「融合回」を設け、一つの目標に向けて稽古をし、皆で協力できるよう指導した。
- ・演芸(落語)においては、自分自身の高座名をそれぞれ考え、小噺を披露する場を設けた。それにより、人前での発表に順応し、伝統芸能の担い手の一人であるという意識が芽生えた。

○運営上の工夫

- ・コロナウイルス対策として検温、消毒、マスク着用、着替え前後に会場床の消毒
- ・安全に参加できる仕組みとして、帰宅ルート調査、毎回終了直後に生徒退出時間を保護者に連絡
- ・活動の様子は毎回終了直後にSNSで報告、保護者にはメールと写真を送付、家庭内での会話の機会を促した。
- ・「融合回」に保護者を招待し、児童・生徒の様子を実際に見学してもらい、保護者の伝統芸能への関心を高めることにも配慮した。

○継続的な運営に関する課題・展望

- ・近隣企業や区内芸術団体等と連携し、子どもたちの活動ジャンルの拡大を図るとともに、地域に点在する子供のための様々な取り組みの発信を新宿区へ働きかける。
- ・本取り組みの実績をもとに、複数年をかけ新宿区内での複数箇所、面的展開をはかるべく、教育セクションや関係部局、団体との調整を進める。
- ・都内で地域文化倶楽部を実施する芸団協関係団体や民間・大学など、倶楽部団体が合同で取り組める活動を模索し、子供たちが様々な活動に興味関心を持てるような素地をつくる。
- ・持続的運営、プログラム構成の多様化など目標達成のためのクラウドファンディングの活用検討

○令和5年度からの学校部活動の段階的な地域移行に関する方針・提案

- ・弊団体は2005年に新宿区と文化協定を締結して以来、区が実施する様々な文化事業に協力するのみならず、教育委員会との関係では、全小学校での伝統芸能体験事業を複数年にわたり実施し、また教員向けの伝統芸能研修機会に協力するなど、長期にわたる関係構築を行ってきた。また、複数の伝統芸能関係協会組織を会員とする弊団体の強みを生かし、初年度の実績をもとに、学校現場のみならず、区教育委員会(プロジェクトチームや検討部会を含む)、地域文化施設や文化芸術諸団体と協働しながら、複数箇所、平日・週末開催等を含む多面的展開(具体的な学校の部活動等の状況の把握および教員の負担軽減の観点をふまえた上での地域移管)を進めていく。
- ・新宿区及び区教育委員会とは子供のための文化体験事業を開催している。その実績を踏まえ、新宿区から芸能花伝舎クラブの区民、学校への周知などに協力を得る。

○令和4年度 取組状況等

参加者	人数等	対象：小学生(4-6年)及び中学生 参加人数：32名
	学校名	
	募集方法	チラシ配布、ポスター掲示、新宿区の協力を得て区内公立小で配布、文化施設で配架、一部私立小学校で配布
指導者	人数等	各回につき、連携団体からの実演家1～5名
	募集方法	
参加者の移動手段		徒歩、自転車、電車、保護者送迎
活動費用	指導者謝金等	
	その他	
活動財源	会費	経験者クラス：1,500円(単価)×22回(数量)=33,000円 初心者クラス：1,500円(単価)×15回(数量)=22,500円
	その他	アーツカウンシル東京[伝統芸能体験活動助成]
スケジュール	基本活動	(経験者クラス)5月～2月開講 毎週火曜17:00～18:00 (初心者クラス)10月～2月開講 毎週火曜18:20～19:20
	年間	22回
保険加入等		

【活動の様子（写真添付）】

(左)初回オリエンテーション講師たちと集合写真
(右)舞踊と三味線の「融合会」稽古風景



日本舞踊稽古風景



(左)落語稽古風景
(右)講座「からだで感じる伝統芸能」受講風景



三味線稽古風景

